

## SF-340型の特長

1. 普通の5球スーパー受信機では切換えスイッチを“PHONO”に切換えてレコードの再生に使用してもモノラルレコードの再生しか出来ず、立体再生したい場合には更にもう1台の受信機が別のアンプが必要です。ところが、本機は同じ5球スーパーでも、ステレオ再生回路が設計されておりますのでステレオプレーヤーを併用するだけでステレオ再生装置になります。

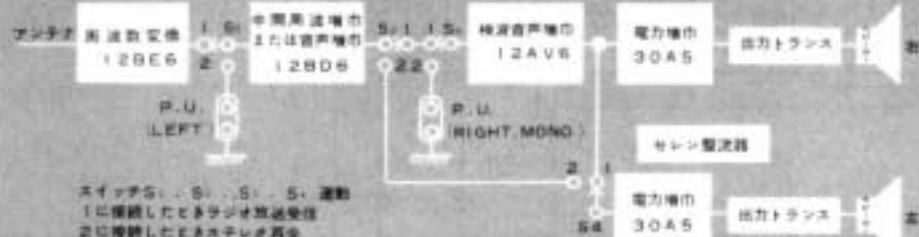
2. ラジオ放送受信時に中間周波増中用として使用する真空管12BD6をステレオ再生の際には音声電圧増中管として使用するようになっております。すなわち、12BD6を二つの用途に使い分け、非常に経済的でもすぐれた性能をもつように設計されております。また、電力増中管、出力トランス、スピーカーはそれぞれ2個ずつ内蔵され、ラジオ放送受信時及びモノラル再生の場合にはそれらが並列に動作して普通の受信機に比し2倍の出力が得られます。ステレオ再生時には、それぞれ左、右の各チャンネルの再生にあてられ左右の2つのスピーカーから立体音が流れ出るようになっております。

3. ステレオ再生回路では、左右両チャンネル共に負帰路回路を設けて出力歪の改善、再生周波数レンジの拡大、低音増強によるダンピングのきいた再生をはかっています。また、両チャンネルにトーン回路を設けて、

### ①普通の5球スーパー



### ②SF-340型



スイッチS<sub>1</sub>、S<sub>2</sub>、S<sub>3</sub>、S<sub>4</sub> 運動  
1に接続したときラジオ放送受信  
2に接続したときステレオ再生

トーン・スイッチの操作により左右チャンネルの音質が同時に調節され、好みの音質で聴けるよう設計されております。

- 国内の中波放送はもちろんのこと、世界中の放送が聴ける高感度の2バンドオールウェーブラジオです。
- 新設計の12cmダイナミックスピーカーを左右に配し、しかも本製キャビネットですの

でプラスチックラジオでは聴かれない迫力と立体感にあふれた美しい音が再生されます。

- 選局同調には2ダイヤル方式を採用しておりますので簡単に正しい同調が得られます。
- 三段音質切換えスイッチつきですから、放送の種類や内容によって好みの音質が選べます。



## オーディオアンプ2台を備えた5球スーパー

ステレオアンプつきの木製ラジオが話題を集めています。サンヨーSF-340型がそれです。手帳に楽しめるステレオの魅力・スマートなデザイン・簡単な操作……が人気の的。このセットの特長と回路をご紹介しましょう。

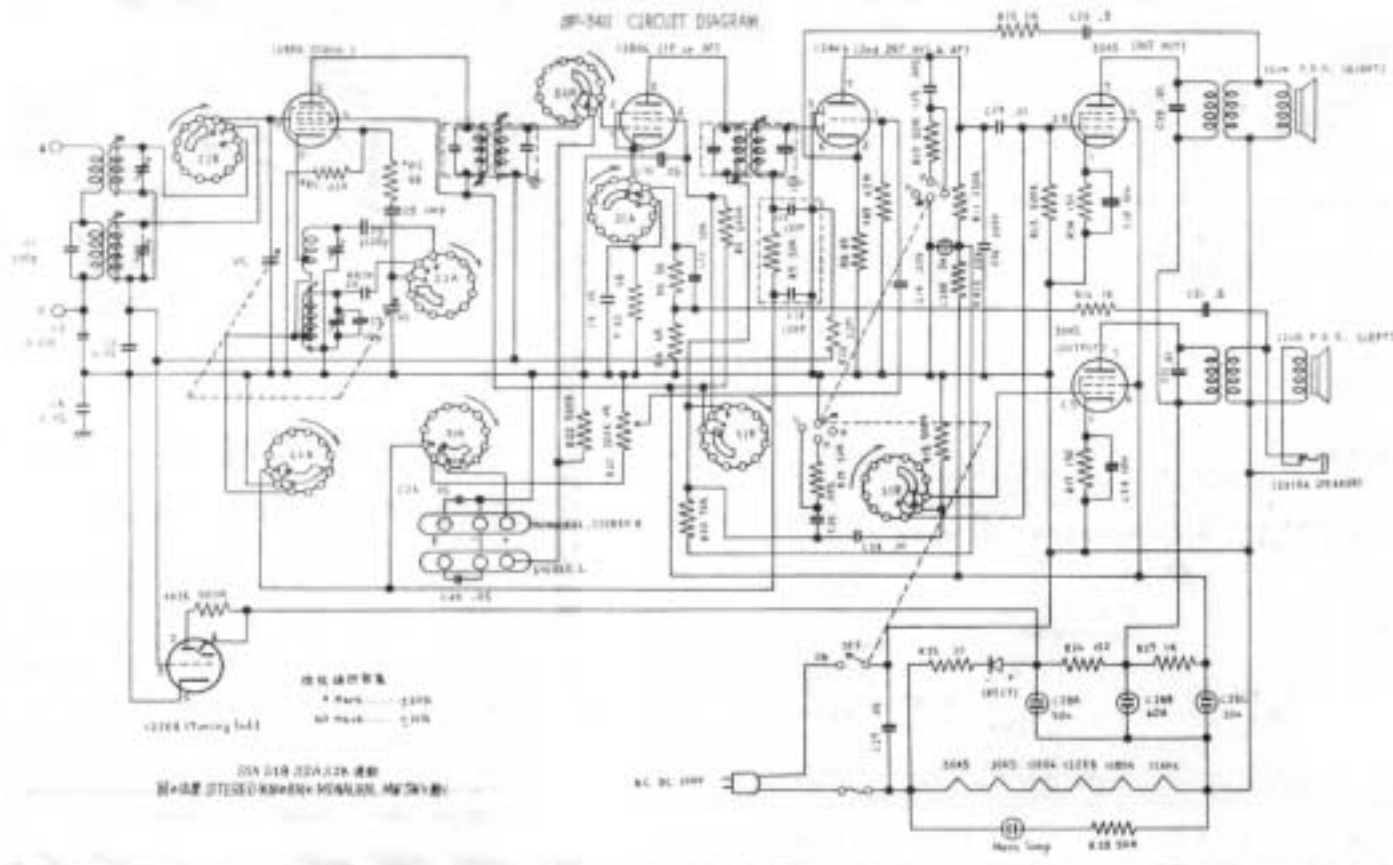
# サンヨーラジオ SANYO



### 定 格

型 式	ステレオアンプ付5球スーパーラジオ
検波整流管	12BE6 12BD6 12AV6 30A5-2 5Z2.5A
中間周波増中管	12BD6 12AV6 30A5-2
音声増強管	12AV6 30A5-2
電力増中管	30A5
出力トランス	モノラル用 30A5-2 5Z2.5A
スピーカー	12cmダイナミックスピーカー
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約 100W
寸法	幅 290mm 高さ 150mm





第1図 出力対歪率特性(低周波部)  
 第1図は出力対歪率特性を示し、必ずしも左チャンネルはリニアアウト特性の12BD8を使用していますが、右チャンネルは歪は極めて少なく、三極管の12AV6を使用した右チャンネルと同等になっています。



第1図

第2図 電氣的周波数特性(低周波部-LEFT)



第2図

第3図 電氣的周波数特性(低周波部-RIGHT)



第3図

第2図、第3図にはずり入力端子から各種周波数信号を入力した時の周波数特性及びトーンコントロールの特性を示します。

①ラジオ放送受信の時及びモノラル演奏時



ラジオ放送受信の時及びモノラル演奏時には、12BD8が中間電圧増幅管として動作し、信号は2本の30ASに並列に入りますチャンネル同時に再生されます。

②ステレオ再生時

ステレオ演奏の時、12BD8は電圧増幅管として右チャンネルの低周波増幅管として動作します。右チャンネルは12AV6を過り30ASに入りますので各チャンネル同時に再生されます。

**サニヨーラジオ**  
**SANYO**

●サンヨー製品紹介

